

◎湖内試験採苗器付着量調査結果（7月31日引き上げ）

サロマ湖内に試験採苗器を6月5日、6月12日に投入し、その付着状況を調べました。

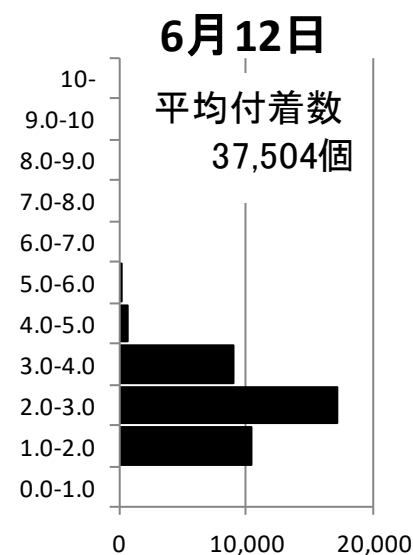
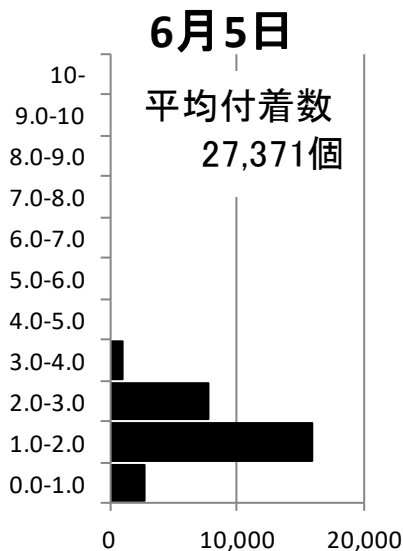
その結果、付着数の平均は6月5日27,371個/袋、6月12日37,504個/袋でした。全体の平均は32,437個/袋と平年の約3倍の付着でした。

殻高は6月5日で1mm台を中心に3mm台もあり、6月12日の採苗器では2mm台を中心に5mm台もありましたが、平均サイズは2.1mmと平年(3.5mm)よりも大幅に小さい値でした。

試験採苗器ではコケムシ（編み目を覆う寒天状の生き物）による大幅な脱落はみられませんでした。仮分散中の採苗器でコケムシの発生を確認しています。養殖組合では、湖内移動時期、移動場所、垂下水深などの聞き取り調査を実施しています。

引上7月31日		ホタテ		イガイ	その他
		付着数	サイズ(mm)		
6月5日	St2	16,640	1.55	14,528	64
	St3	10,560	1.75	4,224	64
	St4	54,912	1.92	8,832	128
6月12日	St2	21,504	3.08	6,784	0
	St3	32,384	2.10	4,544	0
	St4	58,624	2.36	18,816	0
平均		32,437	2.13	9,621	43

調査年	平均付着数	平均殻高mm
平成24年	18,926	3.2
平成25年	12,127	4.1
平成26年	15,869	2.5
平成27年	1,406	4.2
平成28年	9,433	3.3
平成29年	32,437	2.1
24～28年平均	11,552	3.5



◎ヒトデ、クリガニ、ウミセミに注意して下さい

ヒトデは腕長以下のホタテを1日に10個位も食べる場合がありますので、注意して取り除いて下さい。クリガニは採苗器に穴を開けて侵入し、大量の稚貝を捕食します。ウミセミは小型の稚貝を捕食しますが、1日に100個程度も捕食することがあります。仮採苗の際には、これら外敵生物を十分除去して下さい。